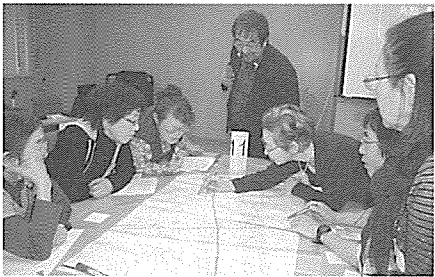


D・i・G(ディグ)体験会

〜ディグってなあに?〜

平成25年5月20日(月)13時〜

七飯町文化センター 201会議室



「災害には2種類存在します。」講師の池田誠さんはボランティニアさん達に語りかけました。1つは交通事故や殺傷事件などの人が原因とする人為的災害と、もう1つは地震や津波などの自然災害があり、今回は自然災害時、私達がどのように行動すればいいのかをグループごと話し合いました。

講師の池田誠さんは函館の北海道国際交流センターの事務局長を務め、国内外の震災の支援も行っており、プロジェクトを通して目の前で見たことや体験してきたことを話してくれました。

そして、集まったボランティニアさんに「地震が発生しました。あなたは地震直後に何をします



か?」その言葉が今回のメインでもあるDisaster(災害)、Imagination(想像力)、Game(ゲーム)通称ディグの始まりでした。「2つだけ避難所に持つていくものは?」「災害が起こった時の為に事前準備はしていますか?」と問いかけ、グループごとに話し合い、発表して様々な意見が出て、感嘆の声や笑い声がある充実したグループワークとなりました。中でも、怪我をした人をどのような順番で連れて行くかなどと、なかなか決断しにくいテーマもありました。大きな地図に病院やお店をチェックし、要支援者の方はどのように誘導すれば効率が良いのかを話し合いで決めました。

池田さんはもし、災害にあつた場合に国等公共の助けをあてにするのではなく、自分の命は自分で守り、徐々に周りや地域の人たちとともに復興していくことが大事だとおっしゃいました。

日頃から防災意識を高めておき、被災しても避難してきた皆さん方を的確に誘導・案内できるよう心がけていきたいと思いました。